

NEWS RELEASE

エコモット(3987)、インフラテック事業を展開するベイシス株式会社と 2022年3月より新型コロナワクチン用フリーザー対応型 IoT無停電電源装置 (UPS) の全国自治体への設置を開始

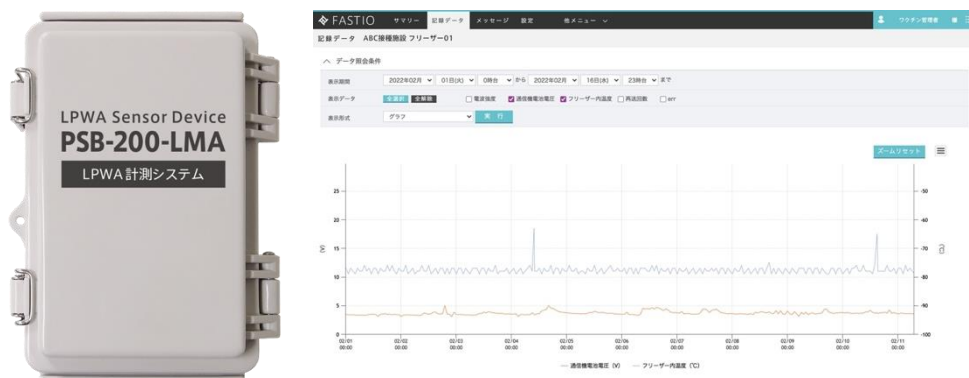
IoTソリューションベンダーのエコモット株式会社（本社：北海道札幌市中央区、代表取締役：入澤拓也、証券コード：3987、以下エコモット）は、インフラテック事業（モバイルエンジニアリングサービス及びIoTエンジニアリングサービス）を手掛けるベイシス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：吉村公孝、証券コード：4068、以下ベイシス社）と、新型コロナウイルスワクチンの保管用フリーザー用で、停電時も継続稼働ができる「フリーザー対応型IoT無停電電源装置 (UPS)」に使用する温度センサーの全国自治体への設置を進めてまいります。



■フリーザー対応型IoT無停電電源装置(UPS)、および温度センサーの概要

近年猛威を振るう、新型コロナウイルスのワクチン保管は厳密な温度管理が必要であり、適切な温度にワクチンを保つフリーザーの安定的な稼働が求められます。しかし、地震、津波、台風等の自然災害による停電が頻繁に発生している日本では、ワクチン保管用フリーザーの電源保護が課題となっていました。

エコモットの提供するIoT無停電電源装置は、突発的に発生する停電からフリーザーの機能停止を守り、貴重なワクチンを保護します。加えて、エコモットが提供するIoT無停電電源装置は停電からフリーザーの稼働を守るだけでなく、IoT機能を内蔵し、温度センサーを使った遠隔監視によりリアルタイムで現在の電池残量や異常状態を確認することができます。この温度センサーの設置に、ベイシス社が提供するサービス（スマセッチ）を利用します。



IoT温度センサーと管理画面

■ ベイシス社とのプロジェクトによる効果

ベイシス社は、長年の通信インフラ構築におけるノウハウ・スキルと、自社開発のプロジェクト管理ツール「BLAS」やAI、RPAなどの最新テクノロジーを掛け合わせ、「インフラテック事業」を掲げ、業界のDXを推進している企業です。

具体的な実績としては、全国20万カ所以上のキャリアWi-Fi構築、140万台以上の電カスマートメーターの設置が挙げられます。この成果をなすうるベイシス社の強みは、全国に広がる300社超の「ベイシspartnerズ」との協力体制による全国対応と、自社開発ツール「BLAS」による約93%の作業時間の削減です。これにより、「大量の機器を全国に及ぶ広範囲に、低コストで迅速に設置できる仕組みが構築できています。このノウハウを生かし、エコモットの提供するIoT無停電電源装置に付随する温度センサーの全国設置を推進いたします。

ベイシス社の設置ノウハウを最大限活用することで、温度センサーの早期設置が可能となり、超低温管理が必要なコロナウイルスワクチン保管用のフリーザーの安定運用を実現し、停電によるワクチン棄損を防ぐことができます。

両社のプロジェクトにより、超低温管理が必要な新型コロナウイルスの損失を軽減し、貴重なワクチンを保護、ひいては円滑なワクチン接種の促進に寄与します。

エコモット：「新型コロナワクチン用フリーザー対応型 IoT無停電電源装置（UPS）」紹介ページ

<https://iot-denchi.com/ups>

ベイシス社：IoT機器など機器の取り付けや施工の工程管理、施工後の運用・保守を依頼可能なプラットフォーム「スマセッチ」紹介ページ

<https://smasetchi.com/>

■ 今後の展望～IoT監視センターにより、フリーザー温度管理を遠隔で代行、24時間監視・緊急電話連絡を実現～

ベイシス社とのプロジェクトにより、IoT無停電電源装置ならび温度センサーの全国への普及を加速させ、従来、コストの兼ね合いによりアウトソーシングが困難であったフリーザーの温度管理をエコモットのIoT監視センターで集中監視することにより、低コストでの24時間監視サービスの提供を目指します。

これにより、夜間管理体制の構築や、アラートメールの見落としリスク対策等、これまで課題とされていた部分の解決が可能となります。

■ エコモット社取締役経営企画部長 花田浩二のコメント

感染症拡大を契機に、情報通信技術は国民生活や経済活動の維持に必要な不可欠なものとして、その重要性や存在感を増してきています。この環境のもとエコモットは、IoT無停電電源装置の普及・拡大のために、モバイル及びIoTエンジニアリング領域で圧倒的な技術と実績を有するベイシス社と、プロジェクトを推進することといたしました。ICTで世の中をもっと便利にし、未来の常識を創る。今回の共同プロジェクトにより、事業領域の更なる拡大を目指して参ります。

■ ベイシス社取締役兼執行役員 事業開発本部長 田中裕輔のコメント

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちに多大な不安や混乱をもたらしました。

弊社は「ICT で世の中をもっと便利に」をミッションに掲げており、感染拡大の抑止と経済活動維持のため、どのように社会に貢献できるかを模索していたところ、エコモット社とのご縁をいただきました。

エコモット社のIoT無停電電源装置の普及・拡大を、弊社がこれまで培ってきた通信インフラ構築のノウハウ・スキルを活用して推進します。

医療関係者の皆さま、国民の皆さまが安心して生活できる日々が1日でも早く訪れることを願い、その一助となるべく取り組んで参ります。

■エコモット株式会社について

エコモットは2007年の創業以来IoT専門のソリューションベンダーとして、センサー・自社開発通信デバイスの提供を行うとともに、多様な顧客ニーズに応じたカスタマイズ、現場での設置ノウハウを提供し、あらゆる「モノ・コト」からセンシングを可能にするソリューションを提供しています。2017年6月に札幌証券取引所アンビシャス市場、2018年6月に東京証券取引所マザーズへ上場。2019年1月にKDDI株式会社と資本業務提携いたしました。

所在地 : 〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東2丁目5番2号 札幌泉第1ビル1階

代表 : 代表取締役 入澤 拓也

設立 : 2007年2月

資本金 : 6億1,529万円 (2021年8月末時点)

事業内容 : IoTソリューションの企画、およびこれに付随する端末製造、通信インフラ、アプリケーション開発、
並びにクラウドサービスの運用・保守に関する業務のワンストップでの提供

URL : <https://www.ecomott.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

エコモット株式会社 薄木・荒木

TEL : 011-558-6600 MAIL : itg@ecomott.co.jp